

プログラミング学習やICT利活用 学校支援人材 を求めています

皆さんの力を子どもたちのために活かしませんか

2020年度から小学校ではプログラミングが必修の学習内容になりました。これからの時代に必要な問題解決能力の育成に向けた取組です。またこの4月から児童・生徒に1人1台コンピュータ端末が配布され、学校での授業はもとより、家庭での活用への拡大など、いつでもどこでも活用できる情報活用能力の育成が始まります。

プログラミングや1人1台端末の日常活用は、児童はもとより先生方にとってもはじめての経験であり、教える先生方も大変です。学校ではプログラミング学習やICT活用を支援して下さる地域の支援人材を求めています。

そんな思いのある方々を登録し、支援を希望する学校に紹介するための「学校支援人材マッチングシステム」を富山県教育委員会と協働で開発しました。多くの方がこのシステムに登録して下さることを期待しています。

富山県教育工学研究会 代表 山西潤一

ご支援いただける方は

「学校支援人材マッチングシステム」への登録をお願いします。

■募集する支援人材

- ・プログラミングやICT経験のある方
- ・学んでみたいという思いのある方

■システム登録URL

<https://e-sapo.jp>



<お問合せ>

富山大学人間発達科学研究実践総合センター内 富山県教育工学研究会事務局
メール：e-sapo@toyamaedu.com

本事業は、富山県教育工学研究会が、富山県教育委員会と協働し、令和2年度富山県公募提案型協働事業として行うものです。